

連続立体交差事業及び西武新宿線沿線まちづくりについて

連続立体交差事業の概要及び西武新宿線沿線まちづくりに関する対話の場等の開催について、以下のとおり報告します。

1 連続立体交差事業について

連続立体交差事業は、道路と鉄道の平面交差を立体交差化し、複数の踏切を同時に除却する事業であり、これにより、踏切の遮断による交通渋滞や踏切事故の解消、鉄道により分断されていた市街地の一体化を図るなど、安全で快適なまちづくりに貢献するものである。当該事業は、都が事業主体となり、鉄道事業者や関係区市等と連携して推進している。区内では以下の2つの事業が進行中である。

- 京王電鉄京王線（笹塚駅～仙川駅間）【資料1】
- 西武鉄道新宿線（井荻駅～西武柳沢駅間）【資料2表面】

当該事業と合わせて、区が事業主体となって以下の事業が進行中である。

- 上井草駅北口駅前広場整備事業等【資料2裏面】

なお、西武鉄道新宿線（野方駅～井荻駅間）については、都が、構造形式を含め、道路と鉄道の連続立体交差化を検討中である。

2 上井草駅周辺地区まちづくり広場の開催について

花と緑のステキなまち井草協議会主催の「花と緑の井草祭り」（5月23日・会場：井草森公園）にあわせて、上井草駅周辺地区まちづくり広場を開催した。

会場では、西武新宿線（井荻駅～西武柳沢駅間）連続立体交差事業、上井草駅北口駅前広場整備事業等及び上井草駅周辺地区まちづくり方針の説明パネルを展示し、来場者139人に対して区の職員が直接説明を行い、意見を聞いた。

○主な意見

- ・ 高架化されることで踏切渋滞が解消されるのは良いことだ。
- ・ 西武新宿線高架化事業を初めて知った。
- ・ 事業が進むのには、時間がかかることが分かった。
- ・ 事業の進捗が気になっていたので、知ることができて良かった。
- ・ 連立事業の工事中、駅まで安全にアクセスできるよう、段階的に進めてほしい。
- ・ 上井草駅周辺には、賑わいは望んでいない。現状のままでよい。
- ・ 駅の南側の賑わいが少ないので、整備してほしい。

3 (仮称) 下井草まちづくりラボの開催について

昨年度に引き続き、(仮称) 下井草まちづくりラボの参加者の追加募集を行う。

(1) 目的

昨年度までの取組内容を振り返り、出席者の関心が高かったテーマについて、深く掘り下げて議論する場を設け、将来的にはまちづくり計画として取りまとめることを視野に、まちづくりの方向性を共有する。

また、区、事業者、区民がそれぞれの役割分担の下、地域課題の解決に向け、短期的に取り組めることから実践していくことを目指す。

(2) まちづくりのテーマ・日程・会場・対象

【資料3】のとおり

(3) 募集

広報すぎなみ・無作為抽出・まちづくりニュース配布・地区内4小中学校への案内等により周知を行う。追加の参加者については、60名程度選出する。なお、昨年度の参加者についても、今年度も継続して参加していただくことを想定している。

4 八成小学校出前授業の実施について

八成小学校6年生の総合学習の一環として、子どもたちがまちの課題を見つけ、「10年後のまちをデザインする」をテーマにアイデアを考える授業を実施する。

(1) 目的

将来を担う子どもたちの下井草のまちへの関心と愛着を高めるとともに、下井草駅周辺まちづくりに対する意見を聴取する。

(2) 内容

八成小学校の6年生が、区からのまちづくりや連続立体交差化の講義を受け、下井草駅周辺のまち歩きやまちの人たちへのインタビューを行った後、班ごとにワークショップを行い、提案内容をまとめ、その内容を保護者、まちづくりラボ参加者及び区職員の前で発表する。

(3) 開催日時・内容

第1回 5月29日(金) 講義、まち歩き・インタビュー、グループワーク

第2回 6月8日(月) グループワーク

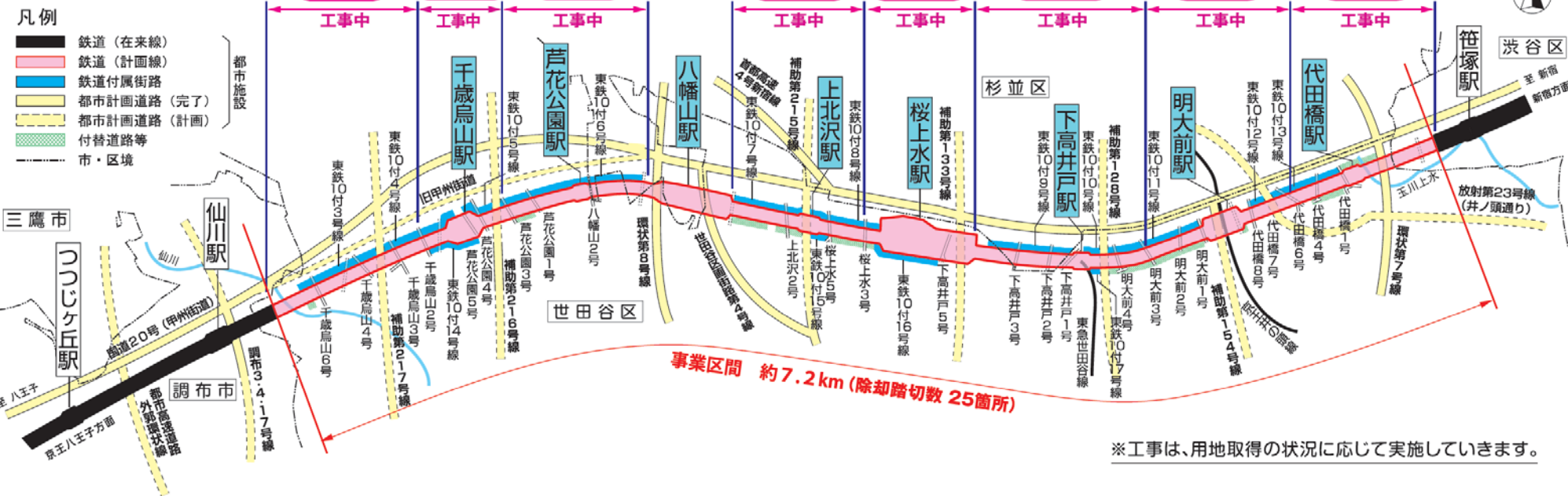
第3回 7月15日(水) 発表会

(4) 第1回で出された主な意見

- 体が不自由な人でも安全に歩けるみちにしたい
- 踏切の開いている時間が短くて幅がせまい
- 住宅街に比べて道路は自然が少ない
- 駅周辺でもにぎわいが無い

【平面図】

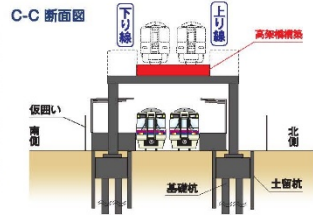
事業期間 平成25年度から令和12年度



第3工区 下高井戸駅付近

2026年度の主な工事

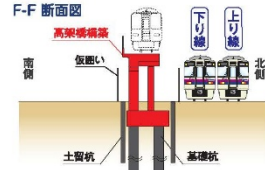
下高井戸駅部では、現在線の直上に高架橋の構築を進めます。下高井戸3号踏切の西側ではヤードの整備を進めます。



第6工区 芦花公園駅付近

2026年度の主な工事

八幡山2号踏切の東側の区間では、引上線[※]の撤去と土留杭の設置を進めます。芦花公園駅部から芦花公園1号踏切までの区間では、高架橋の構築を進めるとともに、橋上駅舎撤去に向けて仮駅舎と仮旅客通路の整備を進めます。
※引上線：八幡山駅西側の折り返し専用線



- 凡例
- ①ヤード整備
 - ②土留杭設置
 - ③基礎杭構築
 - ④高架橋構築
 - ⑤下り線高架橋完成
 - 将来の高架橋範囲
 - 仮高架橋設置
 - 仮旅客通路等
 - 既設高架橋撤去

西武新宿線(井荻駅～西武柳沢駅間)連続立体交差事業等の概要図

【平面図】

事業期間 令和5年度から令和19年度（連続立体交差事業）
令和5年度から令和21年度（側道整備事業）

事業区間 約5.1km

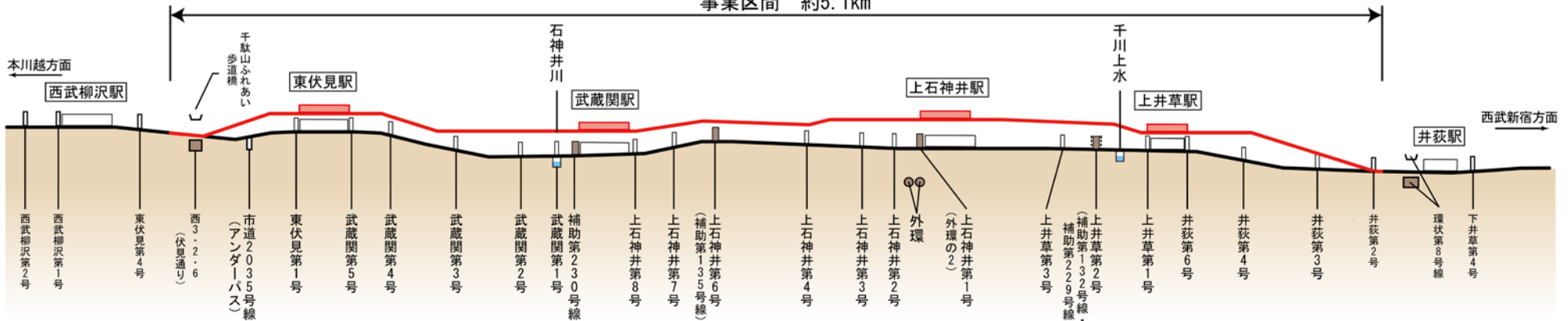


※この地図は、東京都縮尺1/2,500地形図を使用（7都市基第1277号）して作成したものである。無断複製を禁ずる。
この地図の著作権は、東京都及び株式会社ミッドマップ東京に帰属する。
この図面は、令和5年に実施した航空測量をもとに作成しているため、現在の土地利用が反映されていない場合があります。
（承認番号）4都市基街都第83号、令和4年6月7日

凡例		鉄道（計画線）		都市計画道路（事業中・完了）		工事で使用の可能性がある範囲
		鉄道（現在線）		都市計画道路（計画）		河川等
		鉄道付属街路・特殊街路		区画街路		区市境

【縦断図】

事業区間 約5.1km



上井草駅北口駅前広場整備事業等の概要図

事業期間 令和5年度から令和21年度



【整備イメージ】 パース



【整備イメージ】 練馬高野台駅

(承認番号) 31都市基街第51号、令和元年6月13日

この地図は、東京都知事の承認を受けて、東京都縮尺2,500分の1地形図を利用して作成したものである。

(承認番号) 31都市基交著第2号

【概要】

■ 東鉄新付第11号線

延長：69m 幅員：19～20m

■ 東鉄新付第10号線

延長：37m 幅員：12～14m

■ 杉並区画街路第3号線

道路部分 延長：118m 幅員15m
 広場部分 面積：2,804㎡

下井草駅周辺まちづくりニュース第13号



(仮称)下井草まちづくりラボ の参加者を追加募集します！



道路と鉄道の連続立体交差化を契機とした下井草駅周辺のまちの将来像について幅広い世代の方々と意見交換するために、昨年度に引き続き(仮称)下井草まちづくりラボを開催します。

この度、より多くの方々と意見交換をするために、参加者を追加募集します。



日時

第11回「旧早稲田通りの安全化について」

令和8年 6月20日 (土) 午前 9時～12時

第12回「下井草駅周辺の商業やにぎわいについて①」

令和8年 9月19日 (土) 午前 9時～12時

第13回「下井草駅周辺の商業やにぎわいについて②」

令和8年 10月24日 (土) 午前 9時～12時

第14回「これまでのまとめ」

令和9年 1月16日 (土) 午前 9時～12時

※テーマは現時点での予定です。

※途中の回からでも参加可能です。

申込方法

- 申込フォームによるお申込み
右記、二次元コードからお申し込みください。
- はがきファックスによるお申込み
(1) 氏名(ふりがな) (2) 郵便番号・住所
(3) 年齢 (4) 電話番号 (5) E-mailアドレス
(6) 手話通訳・託児サービスの必要の有無などの配慮
してほしいことを明記の上、下記のお問い合わせ先
までお申し込みください。
- 申込締切：令和8年6月15日(当日中必着)
※手話通訳・託児サービス(対象：生後7か月～就学前)
のご利用を希望される方は、6月8日(月曜日)までにお
申し込みください。



申込はコチラ

対象

下井草駅周辺まちづくりに興味のある

- 10歳以上の方
- 区内在住・在勤・在学の方

定員

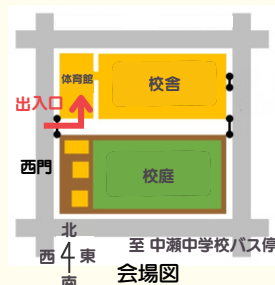
約60名程度(うち、無作為抽出含む)

場所

杉並区立桃井第五小学校体育館
(下井草4-22-4)

西門側からお越しください。

- お車でのご来場はご遠慮ください。
- どなたでも見学・傍聴することが可能です。



問い合わせ

杉並区 都市整備部 市街地整備課 鉄道立体係 〒166-8570 杉並区阿佐谷南1-15-1
TEL 03-3312-2111(内線3386) FAX 03-3312-2907

資料

「下井草駅周辺まちづくり」の資料などは区公式ホームページ(右記二次元コード)からご覧いただけます。



【裏面あり】

令和7年度 下井草駅周辺地区まちづくり オープンハウスを開催しました！

令和7年度に実施した（仮称）下井草まちづくりラボでは、「旧早稲田通りの安全化」「駅前広場・交通結節点のあり方」「みどりと景観」の3つをテーマに、下井草らしさに着目しながら、下井草駅周辺のまちの将来像について意見交換を重ねてきました。

まちづくりオープンハウスでは、（仮称）下井草まちづくりラボにおけるこれまでの取組内容や、令和7年度のラボの内容を地域の方々へ広く共有することを目的に、パネル展示を行いました。

なお、本オープンハウスでは、区職員に加え（仮称）下井草まちづくりラボの参加者が地域の方々へ直接説明し、意見交換を行いました。

開催日時

令和8年2月14日(土) 午前10時～午後3時

参加人数

111名

会場

下井草駅南口駅前広場



～いただいた主なご意見～

旧早稲田通りの安全化



- ・歩道が狭く通りにくいため、歩道の拡幅や車道との明確な分離など、安全性の向上を図ってほしい。
- ・段差や電柱により、車いすや傘を使った通行が困難な状況があり、バリアフリー化や無電柱化を進めてほしい。
- ・一方通行化は安全面で効果が期待できる一方、生活の不便さや周辺道路の渋滞への懸念もあり、慎重な検討が必要。

駅前広場・交通結節点のあり方



- ・西武新宿線の立体交差化により、南北方向の交通が円滑になり、新たに生まれる空間の利活用に大きな期待がある。
- ・タクシーや乗用車とバスの動線が分かれていると便利だが、駅近くの商店街との両立には工夫が必要だと感じる。
- ・みどりを多く取り入れ、誰もが集えて、くつろぎ、会話ができる空間にしてほしい。

みどりと景観

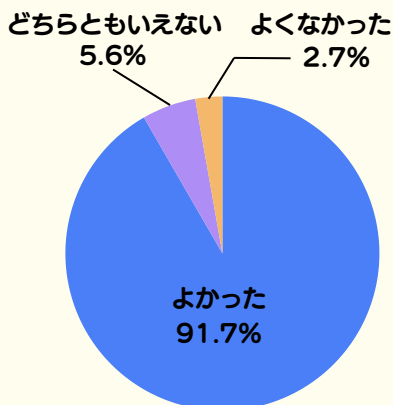


- ・商店街の中に木陰や花壇があることで、交流が生まれ、まちなみの魅力向上につながると感じる。
- ・夏でも快適に歩けるよう、樹木の配置や高さ、樹冠率※を工夫し、休める場所を確保してほしい。
- ・みどりを活かしつつ、防犯に配慮した街灯設置など、安全面との両立を図ってほしい。

※樹冠率……ある区域の面積に対して、上から見た枝葉の広がり占める割合

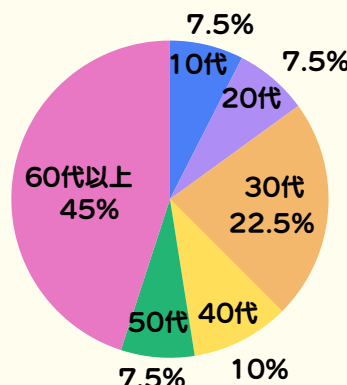
～アンケート結果～

令和7年度のまちづくりオープンハウスの内容について



まちづくりの経緯や内容が分かりやすいとの声を多くいただきました。一方で、より簡潔な掲示を求める意見もありました。令和8年度は、誰にとっても内容が正確に理解できるよう工夫を行い、より多くの皆さまにまちづくりへの理解を深めていただける内容を目指します。

参加者の年代



アンケート結果から、幅広い層の方々にご参加いただいたことが分かりました。今後も引き続き、豊富な経験をお持ちの方々の声と、次の時代を担う世代の方に関心を持っていただけるような意見交換の場を目指してまいります。